

## 就職内定率過去最低 若者へ積極的な就労支援を

**問**

厳しい経済状況の中、県内の高卒者の就職内定率は、前年度同時期を4%上回る88.9%とやや向上であるが、大卒者は61%で前年を0.6%下回り、厳しい状況にある。

①住民に一番身近な自治体として、積極的対応が求められると思うが見解は。

②足立区のような若者に対する積極的な就労支援策を実施しては。  
③国の緊急雇用対策を安定した就労や福祉の充実に結びつく事業へ活用しては。

**答**

①昨年以降、若者の就労が困難な状況が続いていることから、さらに積極的に取り組む必要があると認識しており、就労支援策の拡充について今年度予算に盛り込んだ。

②これまでも「就職支援セミナー」や「資格取得講座」の実施とともに、国・県と連携し企業との「合同面接会」などを実施しているが、23年度は新たに新卒予定者が円滑に就職活動に取り組むための「新卒者就活応援セミナー」や市内優良中小企業との「新卒予定者面談会」を開催する。

③23年度は、未就職卒業生などの若者を市内事業所が一定期間雇用し、資質向上を図るとともに正規就労につなげるための「ジョブ・トレーニング事業」を実施する。

④23年度は、未就職卒業生などの若者を市内事業所が一定期間雇用し、資質向上を図るとともに正規就労につなげるための「ジョブ・トレーニング事業」を実施する。



▲資格取得講座の様子

## 大型映像装置の設置 中心市街地活性化への活用は

**問**

23年度の重点分野である中心市街地活性化に関して、人・もの・情報が集まる仕掛けづくりとして、オリオンスクエアへの大型映像装置の設置・運営費として約2億円を計上している。

①どこからの要望や発想で予算化し、活性化に結びつけようとしているのか。

②どのような考え方で活性化を実現しているのか。

**答**

①地元商店街などと構成する「中心市街地活性化協議会」において、十分な議論を行い、オリオン通り周辺の集客力を向上するため、「中心市街地活性化基本計画」に位置付けた重点事業の一つである。

具体的には、オリオンスクエアのステージ中央の壁面に大型映像装置を



▲オリオンスクエア イメージ図

設置し、より魅力あるイベントの開催や、パブリックビューイングなど、新たな賑わいを数多く創出し、多くの皆様が行ってみたい、観てみたいと感じる賑わい拠点の形成を進めていく。

②活性化に向けては、官と民が相互に連携を図り、役割を分担しながら、各種事業を推進することが重要である。このため、民間が主体で取り組むオリオン通りのアーケード大規模改修などや、本市が実施する大型映像装置の設置などを基本計画に盛り込み、円滑かつ効果的に活性化に取り組んでいく。

③今後、児童虐待の未然防止や発生後の対応強化策にどのように取り組むのか。

**問**

児童虐待防止について伺う。  
①さらなる学校との連携強化を図り、小中学生への対応充実のため、「子ども家庭支援室」を設置し、教員を配置するねらいは。

②今後、児童虐待の未然防止や発生後の対応強化策にどのように取り組むのか。

**答**

①増加する児童虐待問題に迅速かつ的確に対応するため、関係機関との連携・調整機能など、児童虐待対応に専念できる体制として、今年度から「子ども家庭支援室」を設置し、室長に経験豊富な教員を配置することで、児童心理や学校現場を踏まえた援助方針の策定や就学児童への適切な支援が行えると考えている。

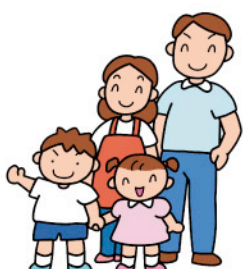
また、室長を教育委員

## 児童虐待防止へ新たな取り組みは

会と併任させ、教員向けの児童虐待防止の研修など、学校への指導・助言を通して、学校の対応力向上を図っていく。

②母子健康手帳交付時の面接で、リスクの高い妊婦の早期発見に努め、また、今年度より「すこやか訪問事業」として、乳幼児健康診査未受診の家庭を全戸訪問し、育児不安や不適切な養育状況の家庭を早期発見し、必要な支援に結びつけ、未然防止の強化に努める。

また、児童虐待の対応を行う相談員を増員し、よりきめ細やかな手厚い支援を実施するとともに、地区児童虐待防止ネットワーク組織の39全地区設置を目指して取り組んでいく。



※パブリックビューイング…スポーツの試合を大型映像装置を活用して観戦すること。